



学習のポイント

お話の記憶の問題のお話としては比較的長文です。こうした問題は「『誰が』『何を』『～した』といったお話のポイントをおさえる」「お話の場面を想像しながら聞く」といった基本が守れていないと、スムーズに答えるのが難しくなります。お話を丸暗記するわけにはいきませんから、1枚の絵のように場面を思い浮かべるようにお話の場面をイメージしてみましょう。慣れてくると、登場人物の服装や持ち物も含めて、その場面のイメージができます。例えば、「赤い帽子を被り、黄色いリュックを背負った女の子」といったイメージです。最終的にはセリフや動きもイメージしましょう。イメージができれば、情報が自然に整理されるので記憶にも残りやすくなるのです。「うちの子は記憶力が足りないからこういった問題は苦手」という話を保護者の方からよく聞きますが、記憶力そのものを鍛えようとしてもなかなか結果は出ません。むしろ、お子さまにあった記憶しやすい方法を考え、その練習を重ねさせると早く成果が出るものです。

【おすすめ問題集】

1話5分の読み聞かせお話集①・②、1話7分の読み聞かせお話集 入試実践編①
お話の記憶 初級編・中級編・上級編、Jr・ウォッチャー19「お話の記憶」

問題9

分野：言語（文字・数字）

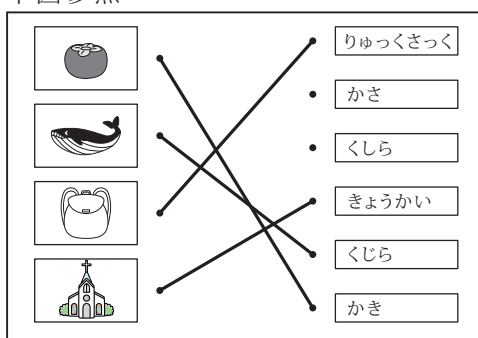
知識

〈準備〉 鉛筆

〈問題〉 絵のカードと、言葉のカードがあります。絵のカードにあう言葉のカードを選んで、線でつないでください。

〈時間〉 各20秒

〈解答〉 下図参照



[2020年度出題]

家庭学習のコツ① 「先輩ママのアドバイス」を読みましょう！

本書冒頭の「先輩ママのアドバイス」には、実際に試験を経験された方の貴重なお話が掲載されています。対策学習への取り組み方だけでなく、試験場の雰囲気や会場での過ごし方、お子さまの健康管理、家庭学習の方法など、さまざまなことについてのアドバイスもあります。先輩ママの体験談、アドバイスに学び、ステップアップを図りましょう！